



いずみの里



清水小宣言 「さわやかなあいさつをかわします」「進んで人のために働きます」「友だちを大切にします」

運動会で培いたいこと

夏休み明けも長く続いていた酷暑もようやく和らいできたと感じる間もなく、朝夕は寒いと感じる日もあるこの頃です。今年も秋の訪れを楽しむ間もなく冬を迎える予感があり、美しい日本の四季を守るためにも一層環境問題への関心を高めなければと考えています。

『秋の期ステージ』を迎えると同時に、運動会の練習も本格的に始まりました。運動会のスローガンは「みんなでチャレンジいずみっ子」です。昨年までは、清水小カーニバルや運動会など、児童会行事ごとにスローガンを決めてきましたが、本年度は、前期児童委員が中心となって5月に決めたこのスローガンを、1年を通じた児童会が目指す姿として、すべての行事の目標としています。学校の教育方針をまとめたグランドデザインにも学校重点目標と並べて記載し、教職員も含め学校全体で大切にしています。

運動会でこの姿が具体化されるのが、応援です。本年度も応援団を編成し、各色の応援を行います。昼休みを使って、応援団が全クラスで応援練習を行ったり、体育館で色別応援を行ったりしています。始まりの数分は、教える方も教わる方もどこかぎこちなさや、照れ臭さを見せるものの、10分もすれば、体育館や教室を振動させるほどの大きな声が響き渡ります。日頃の学校生活では見せないような表情や、大声でエールを送る子供の姿を見るたびに、子供にとって「みんなで一つのことに取り組む楽しさ」や「みんなでやるから頑張れる」ことが、かけがえのない時間になっていることを実感します。



運動会の競技を通して子供たちにつけたい力は、発達段階に応じた体の調整力をはたらかせて、全力で体を動かす気持ちよさや楽しさを味わうこと、そのために必要な運動技能や体力を向上させることです。競争を勝ちたいと願う子供の純粋で前向きな気持ちがモチベーションとなって、最後まで諦めないことや、自分の精一杯の力を出し切る体験を重ねることができます。「勝負が全てではない」ことはもちろんですが、子供がしっかりと勝負と向き合い、そこから生まれる多様な感情を自分自身で整理する力をつけることは、子供が成長する上でとても大切なことです。また、練習



が続くと、体力的にも精神的にも疲れを感じる時期が出てきます。ぜひ、ご家庭の皆さんの運動会の思い出などをお子さんと話題にしながら、子供たちが様々な出来事を自分の力にできるよう励ましてください。また、いつも以上に、十分な睡眠や、朝食をしっかり摂ることなどについても声掛けをお願いします。

校長 武藤 剛

【子供の全力を応援するためのお願い】

- 近隣商業施設への無断駐車は、絶対におやめください。
- お子さんの写真、映像等のご家族で楽しみください。SNS 等への投稿は控えてください。
- グラウンドに十分な広さがありません。譲り合って応援してください。
- 校地内は全面禁煙です。学校周りの路上等についても、地域の方が気持ちよく生活できるようご協力ください。

防災訓練が行われます

清水町では、10月19日(日)に総合防災訓練が行われます。各地区でも防災訓練が行われますので、お子さんとの参加について前向きにご検討ください。これまで、災害発生時には、小学生は地域の役割などが充てられることは少なかったですが、最近の先進地域の事例では、高学年を中心に小学生も共助の担い手になったり、避難所の運営に参画したりする様子が見られます。様々な社会参画の体験は、子供の自己有用感を大きく高めるともいわれています。

また、本年度は、会場型訓練が清水小学校で行われます。防災科学の発達や、生活スタイルの変化で避難所のあり方も、年々進化、変化しています。今回の会場型訓練の様子を担当地区の皆さんや、役場と共有し、学校の防災教育に活かしていきたいです。

最後に次のことについて、防災訓練をきっかけに今年度お子さんと確認してみてください。

1. 自分の住所・地区の組や班が言える。
2. 保護者の名前や連絡先がわかる。
3. 防災用具を自分で使える(防災食を含む)。
4. 避難所での集合場所が決まっている。
5. 地図上で大まかな自宅の位置がわかる。(高学年)

